

特攻の史実を

後世に残す ⑳

知覧特攻平和会館では、「知覧からの手紙」（知覧特攻遺書）を、平和を願い、知覧から世界へ語り継ぐため、ユネスコ世界記憶遺産登録を目指しています。

母の教えを守り…

山下 孝之 少尉 出身地 熊本県氷川町 第57振武隊 (享年19歳)

山下 孝之

只今、元氣旺盛出発時刻を待つて居ります。愈々此の世とお別れです。お母さん必ず立派に体当り致します。

昭和二十年五月二十五日八時。これが私が空母に突入する時です。今日も飛行場まで遠い所の人々が私達特攻隊の為に慰問に来て下さいました。丁度お母さんの様な人でした。別れの時は見えなくなるまで見送りました。

二十四日七時半 八代上空で偏向し故郷の上空を通ったのです。

では、お母さん、私は笑って元気で征きます。

永い間 御世話になりました。妙子姉さん、緑姉さん、武よ 元気で暮らして下さい。

お母さんお体大切に。私は最後にお母さんが何時も言われる御念佛を唱えながら空母に突入します。

南無阿弥陀佛

昭和二十年五月二十五日

山下少尉のお母さんは、信心深い方で何に対しても南無阿弥陀仏と唱え頭を下げられる方でした。この手紙から見ても山下少尉は母を慕いながら母の教えを守り、南無阿弥陀仏と唱えて出撃したのではないのでしょうか。

山下少尉は宮崎県都城東基地から出撃しました。

山下 孝之

只今、元氣旺盛出発時刻を待つて居ります。愈々此の世とお別れです。お母さん必ず立派に体当り致します。

昭和二十年五月二十五日八時。これが私が空母に突入する時です。今日も飛行場まで遠い所の人々が私達特攻隊の為に慰問に来て下さいました。丁度お母さんの様な人でした。別れの時は見えなくなるまで見送りました。

二十四日七時半 八代上空で偏向し故郷の上空を通ったのです。

では、お母さん、私は笑って元気で征きます。

永い間 御世話になりました。妙子姉さん、緑姉さん、武よ 元気で暮らして下さい。

お母さんお体大切に。私は最後にお母さんが何時も言われる御念佛を唱えながら空母に突入します。

南無阿弥陀佛

昭和二十年五月二十五日

知っていますか？ 指定文化財④

善積寺跡（ぜんしやくじあと）

川辺町上山田の松園から虚空蔵ヶ嶽山麓にあった禅宗系のお寺跡です。

ここは勝目地域（山田郷）の仏教文化の中心でしたが、明治時代の廃仏毀釈によって打ち壊されてしまいました。現在は、寺跡の入口に立つ仁王像や庚申供養塔、歴代住職のお墓、本堂跡付近に残る座禅石などが残されています。



▲寺跡の入口に立つ仁王像

夏の節電にご協力を

今年の夏、九州電力管内では電力不足が懸念されるため、皆さんに迷惑をおかけしますが、昨年の夏に取り組んだ節電を目安に、生活・健康や経済活動に支障のないよう、節電（空調の一時停止、照明の消灯など）にご協力ください。

■期間 7月1日（火）～9月30日（火）の平日、午前9時～午後8時

※お盆期間8月13日（水）～15日（金）を除く

【問】九州電力（株）加世田営業所

☎0120・986・805